

ミャンマーで何が起きているのか? ~平和の大切さを考えよう~

会場参加25名 組合員会館で視聴13名 個人宅からのウェブ参加22名 DVD視聴参加37名 (いずれも組合員活動委員)



ミャンマー軍事クーデターへの抗議集会の様子
(2021年4月11日・中之島公園)

今年の2月、ミャンマーで突然軍事クーデターが発生し、テレビのニュースや新聞だけでは伝わっていない惨状が日々起きています。歴史的な背景やパルコプとの繋がりを知り、平和について改めて考えようと、在日ミャンマー人の小川モウさん、パルコプ元有識理事の藤永延代さんにお話を聞きました。

藤永さんは、「太平洋戦争末期、日本軍は当時

2021年度 第1回 推進学習会 (7月16日)



小川モウさん



藤永延代さん

のビルマに乗り込んで占領。イギリスによる植民地支配への反感を

持つビルマの青年を集めて『ビルマ独立義勇軍』を設立させ、イギリスなど連合軍との戦闘に参加させました。1944年に日本陸軍による無謀な『インパール作戦』が行われ、日本の兵士16万人が戦死する中、ビルマの民間人も巻き込まれていました。現在のミャンマー国軍の原型は日本軍隊が作ったといっても過言ではないと思います。

いま、ミャンマー軍を支えているのは、中国とロシア、東南アジア諸国連合(ASEAN・アセアン)です。これに対し、先進7カ国首脳会議(G7・ジゼルン)と欧州連合(EU)などは厳しい非難声明を出しています。日本はG7の中でも唯一ミャンマー軍との太いパイプを持っている国なので、国際的にも日本の対応が問われています。ヤンゴンで計画中の都市開発事業に日本の企業や国土交通省管轄の官

参加者の感想

軍隊が強くなって無抵抗な国民を銃で殺していく。この現状の理不尽な事が恐ろしいと思った。他人事ではなく、どこにでもありえて、一歩まちがえた考えで政治が動いたら同じ事が日本でも起きてしまう。再度、平和と人権と平等性、正義とはをみんなで考えていきたい。

民ファンドが参加し資金を投入、さらに事業用地の所有者になっているのはミャンマー軍の後方部隊で、そこに年間2億円の賃借料を支払っている。このように年間500億円という日本人の税金がODAという形でミャンマー軍に送られ、ミャンマーの国民の人権や生命までも脅かす暴挙のために使われている。これは何としても止めなければなりません。ついに日本も『ミャンマーにおける軍事クーデターを非難し民主的な政治体制の早期回復を求める決議』を今年6月に衆参両院の本会議にて全会一致で決議。内容はとも素晴らしいもので、日本政府に対してこの決議を実践してもらうために私たちが働きかけていくことが重要ですよ」とお話をしました。

少しでも早く平和な日常に戻ってほしい

「ミャンマー緊急募金」にご協力をお願いします

~コロナ禍での生活困窮支援と軍のクーデターを許さず
ミャンマーの民主主義を取り戻すため~

おおさかパルコプでは、緊急募金に取り組んでいます。組合員さんからお預かりした募金は、WFP国連世界食糧計画とミャンマーの民主化を求める関西グループの指定口座に、按分の上振り込みます(按分の比率は集まった金額をもとに確定いたします)。

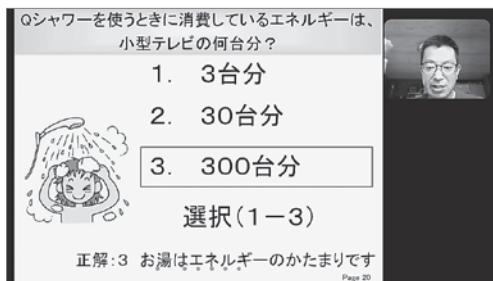
9月4回の注文書まで募金を受け付けています(9月17日まで)。募金カンパ欄「1417」に個数をご記入ください。1と記入すると100円の募金になります。



家庭でできる省エネ学習会

気候変動問題と、私たちにできること

6月28日 個人宅からのウェブ参加 14名



シャワーを使うときに消費しているエネルギーは小型テレビのなんと300台分!「お湯はエネルギーのかたまりです。節水機能付きシャワーヘッドに替えたり、こまめにシャワーを止めるだけでも省エネになります」と鈴木さん

参加者からは「実質排出ゼロはとても...と思っていましたが、一人ひとりの積み重ねとエネルギーの変換を合わせれば現実可能だとわかりました」など感想が寄せられました。

パルコプが呼びかけたオンライン学習会に、組合員さんがZoomで参加されました。講師は、NPO法人地球環境市民会議(CASA)・宮崎学さんと、ひのでやエコライフ研究所・鈴木靖文さんにお話いただきました。

宮崎さんからは、「異常気象とは、30年に1回以下で発生する現象のことです。近年は毎年のように起こり、環境省も『気候危機である』と発表するほど。このまま対策をしなければ21世紀末には、大阪では1年の約半分が夏日(25℃以上)、約三分の一が真夏日(30℃以上)約70日が猛暑日(35℃以上)になると予測されています」と厳しい予測を述べた上で、これからの気候変動を抑制するために「2050年までに温室効果ガス実質排出ゼロ」を日本政府が昨年10月に

表明したことを紹介。そのためにはエネルギー消費量削減(省エネ)と、CO₂を排出しないエネルギー(再生可能エネルギー)への転換が必要で、私たちも家庭のエネルギーを見直さなければいけないと強調されました。

鈴木さんからは、「まずは家庭から出るCO₂の多くを占める家電製品の電気の消費量を減らすことが重要で、中でも大きく4つの家電①電気冷蔵庫②照明器具③テレビ④エアコンの使い方です省エネを進めることができます。たとえば、買い替えのとき販売価格だけで比較するのではなく、年間の電気代の目安にも注目しましょう。省エネ達成率が高いものは電気代もお得になる場合が多いです」など具体的な対策も紹介。照明やテレビはつけっぱなしにしない(つけた時に電気を消費するが、ほんの瞬間のことで1分以上使わないなら消した方が省エネ)、冷暖房は窓からの断熱がポイントで夏ならグリーンカーテンや打ち水が有効なことや、昔からの知恵を見直して夏は涼しく冬は暖かく過ごす工夫を呼びかけました。

2021年版

1週間の「省エネチャレンジ」に参加してみませんか?

「省エネチャレンジノート」を使いながら、日常生活の中でできる省エネ活動にチャレンジしませんか?

2020年の参加者からは「意識して取り組むと自分の無駄がよくわかりました」「取り組みの効果を読むと、なるほど!と意識することができた」など声が寄せられました。

取り組む期間は1週間。大人版・こども版がありますので、ぜひ家族で取り組んでみましょう♪

省エネチェック表		取組:今各
20 項目すべてについて、現状と1週間後について: 1:できている 2:半分くらいできている 3:あまり		
1	なるべく自転車や公共交通機関を利用する。	現状 1週間後
2	冷蔵庫の庫内には、ものを詰めすぎないように整理整頓する。	
3	使用する分だけ、沸かし、なるべく保温はしない。	

お風呂・台所・洗濯など普段の生活場面で取り組んだことをチェック

↓

チャレンジ前と1週間後の状況を自己評価して提出

↓

生協から通信簿が届きます♪

効果の概要	
I. 自動車に10分乗るだけでCO ₂ が1kg発生します。電車なら1/9で済みます。同じ距離を移動するなら、バスなら1/3。	II. 家庭欠けるよ

*地球環境市民会議(CASA)作成

〈申し込み・問い合わせ先〉組合員サービスセンター(7ページ下参照)



こども版は小学3年生以上が対象ですが、対象学年以下でも保護者の方と一緒にチャレンジできます

申し込み締切: 9月10日(金)

実施期間:
チャレンジノートが到着した日から1週間

ノート提出締切: 10月8日(金)